

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 竹原(順)

山 名	大焼山・艮山・高雄山	山行名	隣町・井手町の三山巡り
ルート	バス停多賀口→大焼山→艮山→高雄山→バス停多賀口		
山行日	11 月 24 日	天 候	晴れ
参加者	リーダー： 竹原(順) サブリーダー：染矢 男性：木田、佐々木、中村(康) 女性：竹原(絹) 合計： 6 名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
バス停 多賀口	集	7:40	艮山 (444m)	着	11:50
	発	7:45		発	12:30
万灯呂山 (303m)	着	8:50	高雄山 (443m)	着	13:30
	発	9:05		発	13:45
大焼山 (429m)	着	10:10	バス停 多賀口	着	15:30
	発	10:20		発	15:41

山行報告

7時25分新田辺発緑苑坂行のバスに乗車。祭日なのに外国人労働者の通勤で混雑するのに驚く。バス停多賀口で参加者6名が揃って井手の古い町並みを進む。人家がとだえるころ源氏ボタルで有名な南谷川の橋を渡ってフルーツラインの舗装道を辿って高度を上げて行く。約1時間の歩行で万灯呂山の展望台に到着。今日の山行で唯一眺望の開けるところなので木津川に沿った京都府南部の景観を十分に楽しんだ後、舗装道を下って大焼山登山口からの登山開始は9:45。ここから山道です。約30分の山登りで大焼山に到着。小休止の後、艮山に向かう。小さなピークに向かう道を道なりに進むが、YAMAP コースから外れているという指摘で約100m戻って正規ルートに復帰。大正池からの管理道を横切って鉄塔の下で小休止して艮山到着は11時50分。ここで昼食休憩40分。集合写真も撮って最後の高雄山に向かう。途中、道なりにピークを越えて進むが、コースから外れていることが判明。約200m戻る。高雄山までの道でもう一度ルートを外すがすぐに気づいてロスはほとんど無し。それでも、ほぼ予定通り高雄山到着は13:30。小休止を取って下山道を1時間45分掛けて無事出発点のバス停に到着。

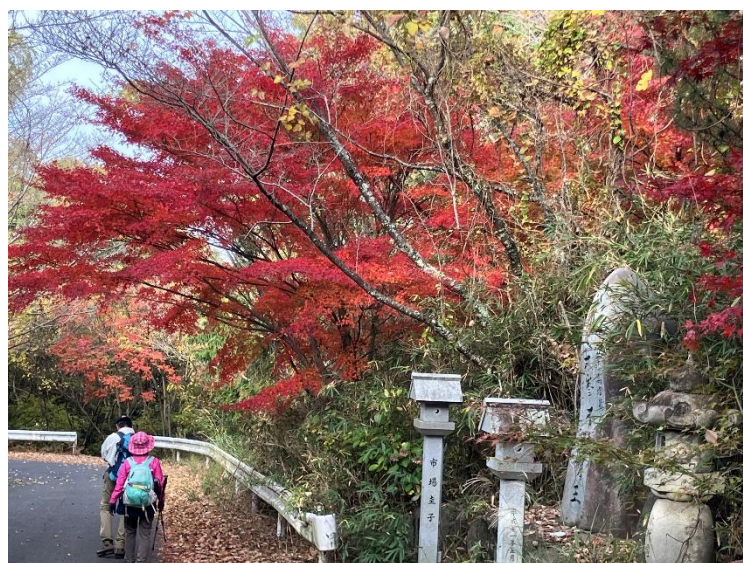
この山行を総括すれば、最初の2時間と最後の30分は舗装路であるが、その他はすべて山道。その山道は、登りあり下りあり、尾根伝いの快適な水平路あり、落葉に覆われて道が見えない坂があり、雨水でえぐられた粘土質の溝状の道があり、足を滑らせ易い砂礫の下りがありと変化に富んでいる。また、案内板が少なく目立たない分岐も多いので、地図とコンパスとYAMAPが必携だ。決して高度は高くはないが累積昇降量は970m、歩行距離も14kmを超え、歩行時間(休憩含む)も7時間45分に及ぶ結構ハードなコースだ。本当に近場で登山口までアプローチし易いという利点を加えると、山行の「体力・技術・知識の向上」を目指す初心者のトレーニング登山にぴったりのコースだと言える。

<ヒヤリハット> 数回のYAMAPコース外れはあったが、再発防止が目的のここにあげるほどではないので、「無し」とします。

井手町三山 1市2町の境界尾根を歩く

中村(康)

小春日和のもと、晩秋の落ち葉を踏みしめ、紅葉が楽しめた。1市2町の境界尾根を含む里山歩きは、さながら送電鉄塔、地図、ヤママップトレースを手掛かりとして尾根道トレースゲームとなった。らくなんトレイルの黄色いテープ、赤い境界杭も頼りとするも、3,4度、道をひきかえしてルートを正した。とはいえ、京都労山100山の、万灯呂山（大峰）、艮山（443m）、そして城陽市最高地点(433m)を踏むことが出来た。高雄山（443m）からの林道下りは、窪地あり、石ころあり、14キロに及ぶ里山歩きの最後の難儀であった。



万灯呂山不動尊の紅葉